



# 08 数と計算

おさらいの回 (2)  
[ドラマ編]

置き手紙のナゾ

～正の数・負の数～

【今回学ぶこと】

温度計を思い出してみましょ。そこには 10℃ もあれば 15℃ もあります。そして、0℃ を下回ると、マイナス… そうです。-2℃ や -7℃ という数字も書いてあります。このマイナスの数を負の数と言います。温度計をタテに見ると、上のほうにプラスの数、つまり正の数、0℃ より下にはマイナスの数、つまり負の数が書いてあります。

数学監修・執筆

湯浅弘一

正の数・負の数のたし算とひき算

正の数のたし算は、普段の生活で使うたし算です。

たとえば、お金の計算で考えると……

$120 \text{ 円} + 150 \text{ 円} = 270 \text{ 円}$  です。

■負の数のたし算はひき算に

では、 $120 \text{ 円} + (-150 \text{ 円})$  はどうでしょう？

120 円から 150 円を引きますから……お金が不足???

そうです。不足額は、30 円です。30 円不足を数学では -30 円と言います。

これが負の数です。マイナス 30 は負の数です。

これを式で書くと(単位の円は省略します)……

$120 + (-150) = 120 - 150 = -30$  となります。

たし算やひき算はお金の計算に置き換えるとわかりやすいでしょう。

$+ (-150) = -150$  のようにマイナスは反対の意味を表すので、

$+$  (マイナスの数) は、たす (+) の反対 → “マイナスの数” を表します。

これを言葉遊びに使うと……

マイナス東とは、「西」。 / マイナス右とは、「左」ということになります。

## 正の数・負の数のかけ算とわり算

次の4つのルールを覚えてください。

正の数 × 正の数 = 正の数
正の数 × 負の数 = 負の数
負の数 × 正の数 = 負の数
負の数 × 負の数 = 正の数

上のルールに数を当てはめてもう一度確認してみましょう。

$$4 \times 8 = 32$$

$$4 \times (-8) = -32$$

$$(-4) \times 8 = -32$$

$$(-4) \times (-8) = 32$$

わり算もかけ算と同じルールになります。

正の数 ÷ 正の数 = 正の数
正の数 ÷ 負の数 = 負の数
負の数 ÷ 正の数 = 負の数
負の数 ÷ 負の数 = 正の数

これらのルールはこれからも使いますのでしっかり覚えておきましょう。

- 最後にもう1つ言葉あそびです。

“君にマイナス100円あげるよ”

の意味は？

“君から100円もらおうよ” と言うことです。

こんな言葉にだまされないように！